

リスクマネジメント

安全保障貿易や下請取引、情報セキュリティなど、重要なテーマごとにグループ横断型の委員会を設置しています。

リスクマネジメント体制

●重要なテーマごとにグループ横断型の委員会を設置

シチズングループは、事業活動に伴うさまざまなリスクに対応するために、内部統制システムの構築に加えて、安全保障貿易や下請取引、情報セキュリティなど重要なテーマごとにグループ横断型の委員会を設置しています。今後も、情勢変化に応じて新たな委員会の開設を検討していきます。

●安全保障貿易管理委員会

「シチズングループ安全保障貿易管理委員会」は、安全保障貿易管理に関する規則の改廃、グループ各社に対する基本方針の周知徹底や諸施策の展開、問題発生時の措置および監査などを担っています。また、その下部組織として、グループ会社17社をメンバーとする「輸出統括会社連絡会」を設置して、シチズングループの安全保障貿易管理規則の実施をグループ各社に要請、管理しています。

●下請取引適正化委員会

「下請取引適正化委員会」は、シチズングループの下請法遵守活動を推進する統括機関として、2005年度に設置されグループ全体の下請法遵守に関する方針などを決定しています。

2007年度は、2006年度に引き続き、グループ19社に対して監査を実施しました。その結果、各社の遵守組織やマニュアルが整備されたことに加え、自己内部監査を実施している会社が増加しているなど、遵守レベルが着実に向上していることを確認しました。

2008年度は、グループ全社を対象とした出張講習会を継続的に実施していくほか、監査対象のグループ会社を拡大し、下請法遵守体制の強化に努めていきます。



監査シーン

●情報セキュリティ委員会

シチズングループは、さまざまな情報を適切・安全に運用し、また社内外の脅威から情報を守るために、2008年1月に情報セキュリティに関わる方針や対策を立案・管理する「情報セキュリティ委員会」を設置しました。今後は、委員会が中心となり、取り組みを着実にグループ全体に浸透・定着させていく方針です。

災害リスク低減のためにBCPを策定

シチズングループは、従来から各社ごとに防災委員会などを設置し、災害時における防災計画を整備してきましたが、近年は大規模地震災害や台風など風水害による甚大な被害が相次いでおり、グループとしての「事業継続計画(BCP)」の策定が急務となっています。

2007年度は、シチズンビジネスエキスパートが「BCP委員会」を設立し、BCPの立案を開始。2008年度は、管理体制を含めたマニュアルづくりを行う予定で、今後はグループ各社へも情報提供していく予定です。



防災訓練

グループ各社の取り組み

●防災訓練を強化

東京・所沢両事業所では、毎年、所属するグループ会社を対象とした防災訓練を棟やブロックごとに実施しており、2007年度は、東京で計13回、所沢で計9回実施しました。さらに自衛消防隊員による毎月のポンプ車点検(東京)や従業員による消火器・消火栓の操作訓練も実施しました。

●移設検知装置を標準装備

シチズンマシナリーは、工作機械の製造販売という業態特性を踏まえ、「安全保障貿易管理」を重要なリスクと位置づけています。その取り組みの一環として、2001年から業界に先駆けてアジア向けに「移設検知装置」の取り付けを開始。これは、機械が不正な移動を検知すると機械がロックされる装置で、2007年4月以降出荷する全機種・全製品に搭載しています。